

三朝町望ましい小学校施設等に関する提案書

(案)

令和2年6月

三朝町望ましい小学校施設等検討委員会

目 次

1	はじめに	・・・	1
2	三朝小学校施設等を取り巻く現状・課題と方向性	・・・	2
3	実現可能な望ましい小学校施設等の姿	・・・	4
4	資 料	・・・	9

1 はじめに

三朝町では近年、小学校が3か所という状態が続いていたが、いずれも施設の老朽化と少子化による児童数、学級数の減少という問題を抱え、統合を含めた整備のあり方についてさまざまな議論が重ねられてきた。

その結果、児童数、学級数の減少問題への対策を先行する形で、平成31年4月に3つの小学校を現在の三朝小学校一校に統合された。

統合された小学校で使用する校舎は昭和42年建設と築50年以上経過しており、耐震補強工事行われているものの、建物自体の老朽化と学校現場の需要に対応しきれない手狭な各室の現状を踏まえ、施設整備の方向性について早期に決定することが喫緊の課題となっていた。

こうした中、令和2年1月に、小学校施設等の整備方針について専門的見地からの検討を行うことを目的として、「三朝町望ましい小学校施設等検討委員会」が設置され、三朝町にふさわしく、望ましい小学校施設等の整備方針について、実現可能性も考慮しながら検討を進めてきた。

本書は、その検討結果を提案書としてまとめたものである。

本検討委員会としては、本提案が町執行部をはじめ、教育委員会会議や町議会で速やかに検討されるとともに、三朝町の子どもたちが笑顔で通うことができる学校施設が早期に建設され、新しい時代にふさわしい教育が提供されることを切に願う。

三朝町望ましい小学校施設等検討委員会

委員長 宮 脇 儀 裕

2 三朝小学校施設等を取り巻く現状・課題と方向性

(1) 現状

① 施設の老朽化・安全性

- 小学校管理教室棟は築53年が経過し、鉄筋コンクリート造の一般的な耐用年限とされる47年を超過している。
- 施設の随所で雨漏り、損耗等が見られ、経年劣化が顕著である。
- いずれも耐震改修工事が行われ、躯体の安全性は確保されているもの、大規模改修工事が行われておらず、外壁材、天井等の非構造部材の耐震対策は十分とは言えない。
- バリアフリー化や現在の教育環境としては要求される水準と照らすと機能的に不十分な面が多い。

施設名称	棟名称	建築／経過	面積	備考
三朝小学校	管理教室棟	S42／53年	2,287 m ²	耐震補強 (H22)
	教室棟	S56／39年	498 m ²	
	体育館	S43／52年	716 m ²	
三朝中学校	教室棟	S37／58年	1,964 m ²	耐震補強・大規模改修 (H19)
	管理棟	S61／34年	1,545 m ²	
	特別教室棟	S63／32年	587 m ²	
	体育館	S38／57年	1,138 m ²	耐震補強 (H19)

② 立地

- 現在の小学校は、町内の道路交通網の要に位置し、通学等の利便性に優れている。
- 小学校敷地内には三朝町上水道の水源があり、地下水脈への影響等を踏まえると敷地内での大規模な工事は難しい。

(2) 課題

① 少子化

- 将来推計人口によると、少子化に伴い、小学校は令和7年、中学校は令和17年からクラス数の減少が始まることが想定されている（令和元年の住民基本台帳に基づく人口及び国立社会保障・人口問題研究所による将来推

計人口における年少人口5年毎の増減率で現在の児童・生徒数を割り戻した将来推計結果、下表①②）。

- また、近年の年間出生数に基づく推計では、最短で小中学校とも令和15年にはクラス数が1となる可能性がある（近年、三朝町の年間出生数は、小学校1年生のクラス最大人数である35人を割る年が続いている、下表③④）。

	R1 2019	R2 2020	R7 2025	R12 2030	R17 2035	R22 2040	R27 2045
小学生(人)	306	293	250	220	188	164	147
中学生(人)	182	167	125	131	112	99	85
①小学校クラス数	12	12	11	10	8	7	6
②中学校クラス数	6	6	6	6	5	4	3
③小学校クラス数	12	12	11	6	6	6	6
④中学校クラス数	6	6	6	6	3	3	3

② 財政事情

- 町の厳しい財政事情を踏まえ、整備費用の縮減はもとより、用地取得費や仮設校舎設置費等の関連経費が限りなく縮減できる計画とすることが望まれている。
- また、活用可能な国庫補助など町財政に優位な財源の積極的な活用を図ることも検討が必要である（統合後おおむね6年以内の校舎等整備が対象とされる国庫負担金の特例制度等）。

(3) 現状と課題を踏まえた方向性

前述の現状・課題を踏まえると、現在の小学校は、安全性の確保と適切な教育環境確保の観点から、早期に整備を行うことが望ましい。

また、現在地は利便性が高く、町民に親しまれているが、工事の支障となる特殊な事情を踏まえると、極力、現在の小学校に近接した位置で整備することが求められる。

加えて、町の財政状況を考慮し、投資を限りなく縮減できる場所を優先的に候補地とするとともに、有利な財源の積極的な活用が図れる計画とすることが望ましい。

3 望ましい小学校施設等の姿

(1) 望ましい小学校施設等のあり方

① 「みささっ子教育ビジョン」の実現

新たな小学校施設等の整備は、「みささっ子教育ビジョン」（平成31年制定）の目指す子ども像を実現することを基本方針とする。

② 利便性・安全性

新たな小学校施設等は、ハザードエリア外にあって、子どもたちや地域住民も含め町民が支障なく利用でき、町民から広く親しまれる利便性、安全性の高い施設とする。

③ 地域に開かれた学校

地域と共に歩む学校であることはこれからの学校づくりの観点において重要な要素であり、地域に開かれた学校施設として、体育館だけでなく、教育ICT機器が整備された会議室や調理実習ができる家庭科室等も地域に開放できるような仕組みとする。

(2) 望ましい小学校施設等の立地

以上の種々の条件を踏まえると、望ましい小学校施設の立地は、

- 現在の小学校に近く、子どもたちの通学や地域住民も含め町民のアクセスが容易な場所。
- ハザードエリア外にあって、必要とされる全ての施設が整備可能な広さを有し、極力用地取得を要しない安全な敷地であること。

が重要であり、これらを踏まえると、現在の中学校の敷地が最も適していると考えられる。

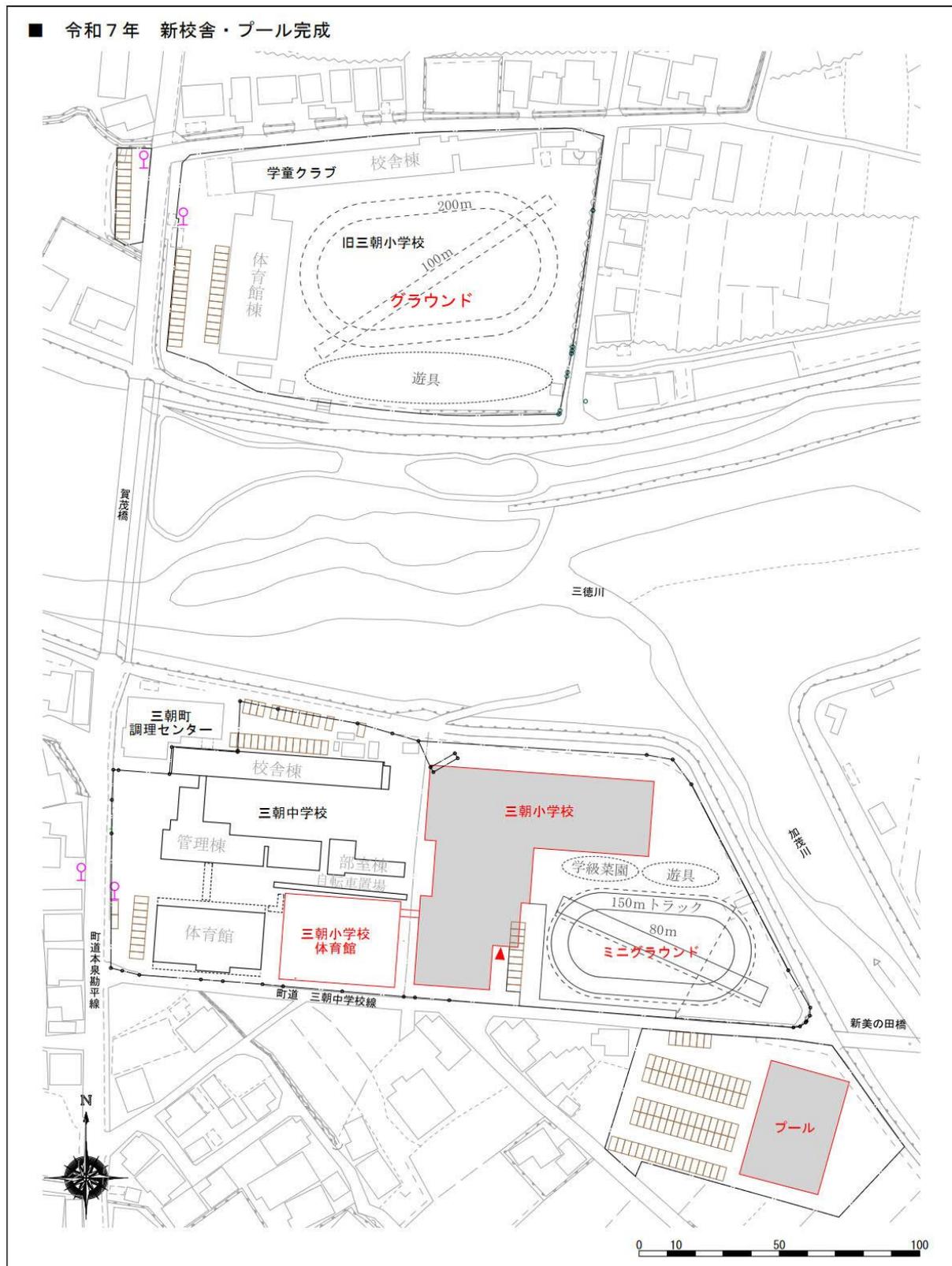
なお、この場合、将来的な施設一体型小中学校連携も視野に入れた、現在の小学校グラウンドも含めた一体的な学校敷地としての活用、トレーニングセンターの小学校施設としての活用、老朽化が進んだ町民プールの更新等についても検討が必要である。

また、以下の点を始め、今後さらに検討を要する課題がある。

- 工事中期間における中学校としてのグラウンドの確保（現在の小学校グラウンドを小学校と共用することを想定）。

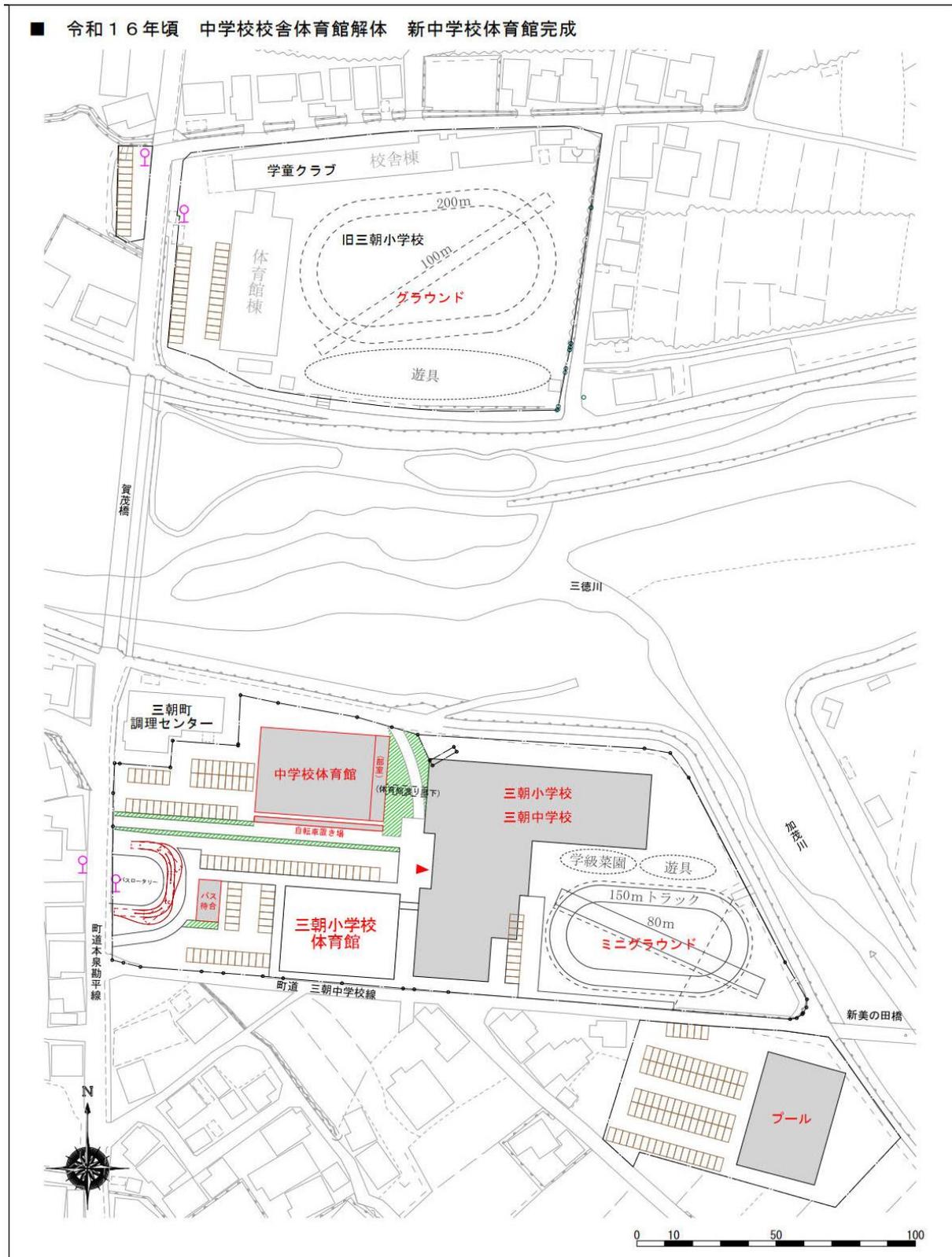
- 工事中及び整備完了後の駐車場の確保（常設としては現在の調理センター横と中学校中庭に加えて新プール横を想定し、臨時的には現在の小学校敷地のほか、野球場やテニス場、役場駐車場も利用することを想定）。

【令和6年度末時点での想定される姿】



【小中学校同一校舎利用可能時点での想定される姿】

■ 令和16年頃 中学校校舎体育館解体 新中学校体育館完成



(3) 新たな小学校施設等の望ましい基本的な整備方針について

新たな小学校施設に望まれる普通教室など各学習関連諸室、便所・手洗いなど生活関連諸室、及び事務室など管理署室等の規模、個所数など基本的な整備方針については、「みささっ子教育ビジョン」の考え方や他県の先進事例等を踏まえた検討結果を、後述の資料（1）で箇所別に示す。

(4) 新たな小学校施設等の望ましい設計デザインについて

利用者に優しい設備として、エレベーターや多目的トイレ、スロープの設置を必須とするとともに、子どもたちや教職員の学校生活を豊かにするため、木造または内装木質化を目指すべきと考える。

また、維持管理や環境面において、長期的な維持管理費や長寿命化へ向けた配慮、エコスクールの観点も必要と考えられる。

その他、新たな小学校施設等の設計デザインについて、望ましい考え方を次のとおり示す。

① 積極的な学びを創造する居心地の良い学校づくり

- ・ 内装木質化で温もりと落ち着きのある校舎
- ・ 採光を十分確保した自然光の明るさがもたらされる校舎
- ・ 授業の際に集中できる吸音、遮音
- ・ 教育 I C T 環境の充実（敷地内無線 L A N 環境等）
- ・ 図書室の充実
- ・ 教室面積と廊下幅の広い校舎
- ・ 教職員用更衣室と休憩ラウンジの確保
- ・ 木製室名表示板の設置

② 全ての利用者が安心して安全な学校づくり

- ・ エレベーターの設置
- ・ 多目的トイレの設置
- ・ バリアフリーを取り入れた校舎（スロープの設置等）
- ・ エアコンの全室完備
- ・ 児童（生徒）数に応じたトイレ設置および洋式化
- ・ 教職員の目の行き届く校舎
- ・ 雨天時を考慮した玄関への半屋外空間設置
- ・ 施錠可能な児童生徒玄関
- ・ 監視カメラ、インターフォン、内線電話等警備システムの設置

- ・ ユニバーサルデザインの導入
- ・ 災害時対応として非常用電源の確保

③ 効率の良い学校づくり

- ・ 各教室等における十分な収納スペースの確保
- ・ 年間を通じてより良い学習環境（校舎内の温度、採光、通風、換気等）を確保できる環境調和システムの導入等エコスクールの検討
- ・ 校舎等の維持管理を考慮した設計
- ・ メンテナンス性を鑑みた校舎屋根
- ・ 将来を見据えた小中学校共用スペースの整理

④ 地域に開かれた学校づくり

- ・ コミュニティルームの設置
- ・ 地域開放ゾーンの設定
- ・ 運動施設の充実
- ・ 地域木材を使用したモニュメント等の設置

4 資料

(1) 新たな小学校施設等の望ましい基本的な整備方針検討結果

① 普通教室 … 81 m²×12 室

- ・ 9 m×9 mを基本とし、12 室を確保する。
- ・ 南向きの部屋とし、自然採光、自然通風に配慮する。
- ・ 授業に集中できる環境とするため、シンプルな壁とする。
- ・ 教室周りの収納スペースや展示掲示スペースを充実させる。
- ・ ホワイトボードはスライドできるものとし、中央には大型提示装置を設置する（はめ込む）。
- ・ 建具はオープンスペースを作り出せる仕様とする。
- ・ 2 教室あたり 1 か所は教材室を設けるのが望ましい。

② 特別支援教室 … 81 m²×5 室+40.5 m²×2 室

- ・ 採光、通風に加え、吸音、遮音にも配慮した造りとする。
- ・ 将来を鑑み 7 部屋を確保する。
- ・ さまざまな学習形態を考慮し、上記普通教室と同規模の教室とその半分の規模の教室を設け、収納スペースや目隠しカーテン等も設ける。
- ・ 保健室や職員室と連携がとりやすい配置とし、2 室は 1 階に配置する。
- ・ 教室内に手洗いを設置する。

③ 通級指導教室 … 81 m²×2 室

- ・ 普通教室と同規模にし、2 室確保する。
- ・ 採光、通風に加え、吸音、遮音にも配慮した造りとする。
- ・ 町外から通う児童生徒を考慮し、1 階に配置する。

④ 理科室 … 162 m²×2 室

- ・ 騒音や振動等が他の教室に影響を及ぼさない構造とする。
- ・ 準備室を設ける。
- ・ 収納スペースや展示掲示スペースを充実させる。
- ・ 将来的に 2 室（小中学校別）とする。

⑤ 音楽室 … 162 m²×1 室

- ・ 吸音性能を有する空間とする。

- ・ 準備室を設ける。
- ・ 体育館や屋外への楽器の移動経路を考慮する。
- ・ 声楽等の授業に対応するため鏡を設ける。
- ・ 将来的にも小中学校共用の教室とする。

⑥ 家庭科室 … 162 m²×2室

- ・ 調理と被服の授業を行うためそれぞれ1室ずつ設ける。
- ・ 準備室を設ける。
- ・ 電子レンジやミシン等を使えるよう、適切に電源設備を設ける。
- ・ 収納スペースや展示掲示スペースを充実させる。
- ・ 災害時の炊き出しが行える等、避難所施設としての機能を考慮する。

⑦ 外国語活動室 … 81 m²×2室

- ・ 体を動かしての学習や、床に座っての活動が行える空間とする。
- ・ 会話や音声を用いた学習を鑑み、吸音に配慮する。
- ・ 収納スペースや展示掲示スペースを充実させる。

⑧ 図工室（美術室、技術室） … 162 m²×2室

- ・ 準備室を設ける。
- ・ 将来的に図工室と、美術室または技術室を兼用とする。

⑨ 多目的室 … 300 m²×2室

- ・ 2教室分以上の広い空間を確保する。
- ・ 展示掲示スペースを充実させ、大型提示装置を設置する。
- ・ 少人数指導教室として活用できるよう間仕切り建具を設ける。
- ・ 吸音性能を有する空間となることが望ましい。
- ・ 将来的に2室（小中学校別）とする。

⑩ 図書室 … 243 m²×1室

- ・ 校舎1階中央に配置し、気軽に入りやすい空間とする。
- ・ 本棚や椅子、展示スペースを工夫し、充実させる。
- ・ 貸出カウンターは全体が見渡せる位置に設ける。
- ・ 2教室分以上の広い空間を確保する。
- ・ 地域開放可能なゾーニングとする。

- ⑪ 教育相談室 … 20 m²×3室
- ・ 3室程度確保する。
- ⑫ 校長室 … 55 m²×2室
- ・ 校庭が見渡せて、来客用玄関に近い1階に配置する。
 - ・ 職員室、共同事務室と連携を図りやすい配置に考慮する。
 - ・ 室内に来客対応ができる応接セットを設ける。
 - ・ 将来的に2室（小中学校別）とする。
- ⑬ 職員室、休憩ラウンジ、職員更衣室、資料室 … 585 m²
- ・ 校庭が見渡せ、児童（生徒）を見守れる環境とする。
 - ・ 個人情報保護等の観点から資料収納スペースを充実させる。
 - ・ 印刷コーナーと作業台を設け、授業の準備が行いやすい空間とする。
 - ・ 給湯スペースと打合せスペースがある休憩ラウンジを設け、教職員がリラックスしてコミュニケーションを図れる空間とする。
 - ・ 職員室と職員更衣室、資料室の動線を考慮する。
 - ・ 職員更衣室は教職員数に応じた十分な広さを確保する。
 - ・ 将来的に小中学校共有化の空間とする。
- ⑭ 共同事務室 … 40.5 m²×1室
- ・ 来客等対応のため、来客用玄関に隣接して配置し、窓口を設ける。
 - ・ 給湯スペースを設け、校長室や会議室、職員室との連携を考慮する。
- ⑮ 保健室 … 135 m²×1室
- ・ 1階の校庭に面した位置とし、救急車の寄り付きを考慮する。
 - ・ 校庭から直接児童（生徒）が入れる構造とする。
 - ・ 教育相談室と連携できる配置を考慮する。
 - ・ 収納スペースや展示掲示スペースを充実させる。
 - ・ 多目的トイレとシャワー室を備える。
- ⑯ 配膳室 … 81 m²×1室
- ・ 児童（生徒）が給食を円滑に運べる動線を考慮する。
 - ・ 給食車の寄り付きを考慮するとともに、将来的に調理センターが隣接して建設される可能性に配慮した位置とする。

- ⑰ 会議室 … 81 m² × 2 室
- ・ 普通教室と同規模の空間を確保し、最低 2 室配置する。
 - ・ 2 室を 1 室として使用できるよう間仕切り建具を設ける。
 - ・ 教職員全員での会議が行える設備を備える。
- ⑱ 放送室 … 9 m² × 1 室
- ・ 職員室そばに配置する。
- ⑲ コミュニティルーム … 81 m² × 1 室
- ・ 学校運営協議会や学校支援ボランティアの活動拠点として、地域開放ゾーンに配置する。
 - ・ 地域や P T A の会議ができる備えを行う。
 - ・ 収納スペースや展示掲示スペースを充実させる。
- ⑳ トイレ、手洗い … 54 m² × 1 1 室 + (42 m² + 12 m² + 36 m²) × 1 室
- ・ 全て洋式トイレとし、児童生徒の人数を考慮した適切な数を設ける。
 - ・ 手洗い場も含めて明るく快適な空間とし、個室の戸を工夫する等省スペースに配慮する。
 - ・ 校舎各階に児童生徒用トイレを設けるとともに、1・2 階には職員来客（大人）用トイレを設け、1 階に多目的トイレを設ける。
 - ・ 床や手洗い場のシンク等、維持管理を考慮した仕様とする。
 - ・ 1 階に校庭から直接入れる児童生徒用トイレも適切な数を設ける。
- ㉑ 体育館 … 1,161.16 m²（現トレーニングセンター）
- ・ 学校校舎からの円滑な移動がしやすい半屋外通路により接続された環境が望ましい。
 - ・ 学校行事を想定したステージの検討を行う。
 - ・ 児童生徒の身体への負担軽減と維持管理費の削減が可能な材を使用した床とする。
 - ・ 地域に開放する施設として、洋式トイレと男女更衣室、下足入れを設ける。
 - ・ 将来的にも小中学校別とする。
- ㉒ プール
- ・ 県内のプール整備状況を鑑み、9 コースかつ 50m の公式大会公認プール

を目標として検討し、最低でも7コースかつ25mとする。

- ・ 上記と併せ、大会誘致を鑑みた観覧席の設置についても検討する。
- ・ 外部からの視線に配慮するとともに、気候に左右されない学習を可能とするため、屋内の温水プールを検討する。
- ・ 災害時の雑用水として活用できるバルブを設ける。
- ・ 小中学校共用とし、水深等の仕様は小学校を基準とする。

⑳ 校庭 … 1,750 m²(ミニグラウンド)+8,860 m²(小学校グラウンド)

- ・ 小学校校舎を配置する敷地内に、児童が安心して遊べるグラウンドを設ける。
- ・ 校庭の脇には鉄棒等の遊具および、花を植えたり農作業ができたりする花壇や学級菜園を設ける。
- ・ 体育や各種大会練習でトラックとして利用する場合は、現在の小学校グラウンドを使用する。

㉑ その他

- ・ 校舎内全ての教室にエアコンを設置して集中管理を行うとともに、体育館についても設置することが望ましい。
- ・ 校舎内の廊下はゆとりを持った幅を確保し、展示掲示スペースを充実させる。
- ・ 敷地内全ての場所がインターネット接続可能環境となるよう無線LANを整備する。
- ・ 玄関は児童(生徒)用と職員用を分け、職員用は来客用を兼ねる。
- ・ 児童(生徒)用玄関の各児童(生徒)用下足入れスペースは、十分な大きさを確保する。
- ・ 駐車場は来客用として校舎東側に30台程度、道路を隔てた校舎南側に教職員用として70台以上のスペースを確保する。
- ・ 児童生徒用更衣室を確保する。
- ・ 中学校生徒会室を確保する。
- ・ 災害時に対応できるよう非常用電源を確保する。

(2) 三朝町望ましい小学校施設等検討委員会開催実績及び検討内容

▽第 1 回 令和 2 年 1 月 27 日(月)

議題① 委員長及び副委員長の選出について

② 三朝町小学校施設等検討に関する意見交換

▽第 2 回 令和 2 年 2 月 28 日(金)

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため延期

▽第 2 回 令和 2 年 4 月 23 日(木)

議題① 本検討委員会における検討の進め方について

② 小学校施設の校舎配置と候補地選定等について

③ 小中学校視察

④ 意見交換

▽第 3 回 令和 2 年 5 月 14 日(木)

議題① 望ましい小学校施設等の検討に関する中間報告について

② 小学校施設の候補地における課題の検討について

③ 本検討委員会としての提案の中間まとめについて

④ その他

▽中間報告 令和 2 年 5 月 18 日(月)

三朝町望ましい小学校施設等の検討に関する中間報告を教育長へ提出

▽第 4 回 令和 2 年 6 月 4 日(木)

議題① 小学校施設等の望ましい基本的な整備方針と設計デザインについて

② その他

▽第 5 回 令和 2 年 6 月 18 日(木)

議題① 小学校施設等の望ましい整備方針について

② 本検討委員会としての提案書内容について

▽第 6 回 令和 2 年 6 月 25 日(木)

議題① 本検討委員会としての提案書内容について

▽提案提出 令和 2 年 6 月●日(●)

三朝町望ましい小学校施設等の検討に関する提案書を教育長へ提出

(3) 三朝町望ましい小学校施設等検討委員会委員名簿

▽委 員

選出 区分	所 属	職名等	氏 名	備 考
学識 経験者	鳥取短期大学生生活学科	教 授	宮脇 儀裕	委員長
	鳥取大学 地域学部地域学科	講 師	石山 雄貴	
	中部教育局 社会教育担当	係 長	徳永 正樹	R1年度は西村信彦氏
	第2次三朝町教育 ビジョン策定審議会	副座長	藤井 隆	
地域 代表	地域協議会連絡会	幹 事	大坂 芳郎	副委員長 三徳地域協議会長
学校 関係者	三朝小学校	校 長	藤原 彰二	R1年度は富山秀敏氏
		教 諭	山本 尚美	
	三朝中学校	校 長	吉田 朋幸	

▽オブザーバー

所 属	備 考
安本・戸田設計特定委託業務共同企業体	基本設計受託者

▽事務局

所 属	職名等	氏 名	備 考
三朝町教育委員会事務局 教育総務課	課 長	山中 恵子	
	指導主事	小谷 涉	
	係 長	福田 徹	
	専門員	早苗 睦巳	